



第44回 毎日こどもピアノコンクール 本選会・小学校2年生の部

審査員講評

みうらあきこ

三浦明子先生 (当番審査員)



本選会にご出演の皆さん、この度は、本当におめでとうございました。ここまで来るのにあたって、生徒さんはもちろんのこと、保護者の皆様と指導者の皆様には、夏の甲子園球児と同じくらいの熱量を持って挑まれた事と思います。その前向きな努力に敬意を表したいと思います。

予選から本選まで聴かせて頂き、感動した事や今後のためになる事をお伝えさせていただきます。

① 選曲 先ずは、生徒さんの個性に合った曲を選ぶのが鉄則です。難しい曲を弾いても、合わなかったり、テクニックがついてこなければ、失敗してしまいます。コンクールは完成度ですので、完璧に近い演奏をする事が決め手になってきます。

今回の予選と本選では、シンプルと思われる「グレチャニノフのわかれ」をじっくりゆったりと歌い込んだ演奏や、「平吉毅州の北国のお話し」では、楽曲分析を入念に行っているであろう演奏、「ブルグミュラーの優しい花」ではシンプルだからこそ難しいレガートの美しい演奏、「ギロックのアラベスクセンチメンタル」では、美しい音と呼吸や裏拍に感じられた美しい空間のある演奏に、大変感動致しました。

② 音色 小学2年生は、まだまだお子様ですが、自分の意志も見えてきます。選んだ曲に合った音色や、自分の身体に合った音色が、自然に聴こえてきます。無理に部分的に強くしたり、必要のない場所の腕や手首の動きがあると不自然な演奏になります。曲としてもより美しく自然に弾くには、指導して下さる先生とより深く研究して、鍵盤の底までしっかり打鍵し、グランドピアノに慣れておくのも大切だと思います。

③ 課題曲 バロック音楽は、ロマン派ではありません。しかしながら、美しく弾くことが課題となるので難しく感じるのですが、ポイントは、テンポは一定に揺らさない、その曲の拍子を感じる、右手だけ聴こえて左手が弱すぎることなく両手とも声部を感じ演奏する、調性のイメージした音を出す等、今後活かしてみてください。

この度は、誠におめでとうございました。また来年も素敵な演奏を聴かせて頂けることを楽しみにしております。